

岡崎市民病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] *当院における噴門側胃切除術の再建法の変遷と、再建法別の術後機能温存の検討*

[研究責任者] 外科 荒木貴代

[研究の背景]

噴門側胃切除術は上部胃癌・食道胃接合部癌を対象とした術式で、胃の噴門部～上部のみを切除し、残りを温存することで術後の生活の質を落とさないようする手術として認知されています。しかし、その再建方法に確立されたものはありません。

[研究の目的]

当院における再建法の変遷と再建法別の術後機能温存についての検討を行います。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

胃癌、食道胃接合部癌の患者さんで、2009年8月1日から2023年8月1日の間に噴門側胃切除術を受けた方

●研究期間：2024年1月1日から2024年7月19日

●利用する検体、カルテ情報

検体：血液検査結果（通常の診療で使用した検査結果を使用し、研究のためだけの検査は行いません。）

カルテ情報：周術期成績（出血量、手術時間、術後在院日数、合併症発症率）、機能温存に関する項目（血清 Alb 値変化率、Hb 変化率、体重変化率、術後 1 年時点での逆流症状、食物うっ滞症状、ダンピング症候群）

●検体や情報の管理

検体や情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

岡崎市民病院

444-8553 愛知県岡崎市高隆寺町字五所合3番地1

外科 荒木貴代

電話 0564-21-8111 FAX 0564-25-2913